

平成30年11月27日

松阪市議会議長 中島清晴様

真政クラブ 幹事長 大平勇

－ 研修報告書 －

真政クラブでは、下記の日程のとおり研修に参加しましたので、
茲にご報告いたします。

記

- 日 程 平成30年10月23日(火)
平成30年11月9日(金)
- 視察先 松阪市労働会館 2階会議室
- 視察事項 ファシリテーター研修会
- 講師 会議ファシリテーター普及協会 代表 釘山健一氏
- 参加議員 赤塚かおり・坂口秀夫・植松泰之・中村良子・山本芳敬

ファシリテーター研修会

講師：会議ファシリテーター普及協会代表 釘山健一氏

日時：10月23日（火） 12：45～16：40

11月9日（金） 12：45～16：40

場所：松阪市労働会館2階 会議室

参加者：山本芳敬 中村良子 植松泰之 坂口秀夫 赤塚かおり

「目的」

松阪市議会では、議会基本条例に基づき年2回の議会報告会を開催しているが、市民から「参加しても面白くない」「参加しにくい」などの意見を聞いていた。開催する議員からも、参加者の固定化や、女性や若者などの参加が少ないことから議会報告会を開催する手法も考えなければいけないとの意見もある。今回のファシリテーター研修会において、テーマ設定や運営手法などを学び、議会報告会・住民説明会・意見交換会などの議会と住民が対話する場とその工夫について学ぶことを目的とする。

「調査」

ファシリテーターの役割

「会議の場を作る」、「意見を受け止め引き出す」、「意見を整理し絞りこむ」、「まとめる」などが主な役割である。複数の人が集まって行う活動がスムーズに、かつ効率よく進められるようにサポートすることです。会議を進行するにあたって、参加者全員の発言をうながしたり、出された意見を簡潔にまとめたりしながら、中立的な視点に立って会議を進めていきます。

ファシリテーターが気を付けること

中立的な立場のため、課題に対して「先入観」や「思い込み」を持たないよ

うに心がける。初めから先入観を持ってしまうと、発想などの妨げになってしまう恐れがある。中立で公平な立場であることを認識しなければいけないので気を付ける。

- 会議の場を作る

議題に適したメンバーの選定、場所の選定、時間の管理、話しやすい雰囲気づくりなど行う。ファシリテーターが何気ない話題を提示することで、みんなの意識を話し合いの場に集中させます。全員に一言ずつ話してもらったり、簡単なゲームを行ったりするのもよい。一人ひとりの思いを最大限に尊重するために、個人で考える時間と、グループで考える時間を取り入れた合意形成サイクルを重視する。

- 意見を受け止め引き出す

議題に対してメンバーから自由な意見を聞き出し、受け止め、時には質問や合意をしながらすすめる。集団には様々な考えを持った人がいるため、時には意見が合わないこともあり、話が進まないこともあるが、そんなときは参加者間意見の調整を行う。それまでに出了意見とは反対の立場や、より広い枠組みなどを提示することで違った観点からの意見をうながしたりしながら、より多くの発言を引き出していく。参加者全員の発言回数と発言時間と均等にする。出された意見をホワイトボードなどに書きとめていく。

- 意見を整理し絞りこむ

議題に沿って集まったアイデアを整理しながら、採用するアイデアを絞りこんでいきます。出てきた意見は、ファシリテーターひとりで整理することなく、意見の共通項を探っていく方向にメンバーの意識を向けさせ、それぞれの発言を共通項ごとに分類していく。すべての発言を分類し終わったら、分類結果が適切かどうかメンバーに問いかけ、全員が納得していることを確認する。もし、ここで納得できていないメンバーがいれば、見過ごすことなく納得できるまで話を詰めていき、出された結論に全員が納得しているかどうか、改めて確認を

し、具体的な行動を決めていきます。きちんと成果が出るような行動計画を立てて初めてファシリテーションは完結することになる。

- 効果的なアイテム

アイデアや発言を紙に書いて、貼ったり、はがしたりできる付箋を利用する。

生花や風船などで装飾する。

お茶やお菓子などを出して和ませる。

A3やA4の用紙を使う。

資料の出し方を参加者全員で揃えて出す。

名札をつくる。・・・など物や仕掛けで雰囲気づくりを行う。

「所感」

会議の目的を「決める」ことから、「参加者が納得する」ことに変えた会議が「合意形成型会議」である。結論を出すのではなく、参加者の合意や納得をどうすれば得られるかを考える会議・・・簡単なようで難しい・・・難しいようで簡単なのだろうか。経験してみた。経験してみると今までの会議が堅苦しくも思えてきた。

松阪市議会では、議会報告会を開催しているが、参加者の数が減ってきている。開催時間がいけないのか、開催曜日を休日に見よう、開催場所を変更してみようと模索してきたが参加者は、なかなか増えない。どうすれば市民が参加してくれるのか。

「忌憚のないご意見を」よく発してしまう言葉だが、これが会議をつまらなくさせてしまう。これでは、みんなの前で意見を言える人だけが意見を言える。「みなさんどうしましょうか」と聞くことが大切だと聞かされた。「どんなアイデアでもいいですよ」「数多く出してください」時間内に出さなければいけないアイデアは簡単な言葉でまとめられる。人前で意見を出すのはかなりの度胸がいる。しかし、付箋に書き出すのだ。頭のすみっこに置いてあったアイデアまでも出した。数多く制限時間までに出そうとすると「なんでもいいから書こう」

となる。こうやって導き出したアイデアは、思わぬアイデアとなり、そこからまたアイデアが生まれていった。時間は早く過ぎていったように感じられた。

ファシリテーターは”最高の聴き役”になることが求められる。誰のどのようなアイデアも肯定的に受け止め、「この人ならどんな話も聞いてくれる」と感じてもらうことで、たくさんのアイデアを引き出すことができる。市民の主体的な話し合いによって地域の意思を決定する、まちづくりのやり方。みんなが力をあわせて地域の問題を解決できる力を地域に培うには、話し合いを通じて地域の知恵とエネルギーを引き出すファシリテーションの力が重要な役割となる。今後の議会報告会に活かしていきたい。